

平成30年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日

施設名	大和市郷土民家園
指定管理者	公益財団法人スポーツ・よか・みどり財団
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

●施設の総括管理及び庶務

管理運営体制	常時2名
開園状況	毎週月曜日(休日の場合翌日)及び年末年始(12/29～1/3)を除く毎日
開園時間	午前9時～午後4時30分(7/21～8/31は午後5時まで)

●施設の利用受付及び庶務

◎年間利用者数

カウンター集計による利用者数…40,731人

記帳集計による利用者数…24,049人

(記帳集計内訳)

区分	市内	市外	県外	合計
一般	12,205人	10,705人	1,139人	24,049人

◎施設利用受付・説明等

小中学校…市内12校、市外23校、計35校

その他団体…市内9団体、市外29団体、計38団体

◎施設利用者に対する歴史説明

来園者の要望に応じて、大和の歴史(古民家・農耕・養蚕)等の説明を実施。

●園内清掃、環境整備及び簡易な修繕等

園内清掃	定期園内清掃
施設内清掃	旧北島家・旧小川家両施設の清掃。茅葺屋根等防虫のため両施設を燻蒸(開園日一日交代)。
植物管理	除草、草刈、高木・低木剪定、生垣剪定、畑・水田管理等を実施。
簡易修繕	管理施設、備品等の簡易修繕を実施。

民具作製	竹とんぼ・お手玉・ブンブンごま等を作製
巡回・警備	開園時間中、常時1名巡回警備。閉園時間中は機械警備を実施。
消防訓練	文化財防火デー(1/24)に実施。

●事業の実施

(自主事業)

	事業名	開催日	参加者(観覧含む)・ 来園者数
1	こどもの日まつり ～昔のおもちゃで遊ぼう～ ※	5/4	730人
		5/5	803人
2	小麦脱穀体験 ※	6/3	363人
3	七夕の調べ ※	7/7	232人
		7/8	297人
4	カイコを知ろう (定員 15組)	7/16	16組/42人
5	☆夏休み まゆ工作体験 (定員 12組)	8/4	11組/17人
6	十五夜団子を作ろう (定員 15組)	9/23	15組/30人
7	古民家でお月見 ※	9/24	463人
8	民家園の秋まつり ※	11/4	275人
9	粳摺り・精米作業実演 ※	11/18	144人
10	正月飾りを作ろう (定員 20人)	12/23	19人
11	初春の七草粥 ※	1/6	171人
12	味噌作り(2日間連続事業)(定員 20人)	2/16 2/17	20人
13	民家園の春まつり ※	3/3	250人
14	箏のしらべとともにお話の世界へ ※ ●7/8は七夕の調べと同時開催 ●9/24は古民家でお月見と同時開催	7/8	38人/297人
		9/24	55人/463人
		10/28	58人/300人
		3/2	56人/424人
15	機織り実演 ※ ●1/6は初春の七草粥と同時開催	4/13	8人/145人
		5/30	111人/162人
		6/22	125人/193人
		8/10	7人/56人
		9/17	31人/238人
		10/12	4人/95人
		11/22	135人/175人
		1/6	25人/346人
		2/15	6人/63人
3/1	142人/225人		

※印の事業は自由参加制。参加者数は来園者数。 ☆印の事業は新規事業

(市内3館合同企画展示)

	企画展名	開催期間	来園者数
1	市内3館合同企画展 「古民家でなつやすみ～「むかしのあそび」や「まゆ工作」を体験しよう」	7/21～8/26	2,630人
2	市内3館合同企画展 「古民家でひな祭り」	2/17～3/10	4,877人

(年中行事展示)

	事業名	展示期間	来園者数
1	端午の節供展示	4/13～5/6	5,736人
2	七夕飾り展示	6/30～7/8	1,003人
3	カイクの飼育展示	7/13～8/31	3,290人
4	お盆の砂盛り展示	8/11～8/15	427人
5	十五夜団子飾り展示	9/21～9/24	930人
6	十三夜団子飾り展示	10/17～10/21	651人
7	ヨーカゾーの目カゴ飾り展示	12/1～12/8	710人
8	正月飾り展示	12/24～1/6	840人
9	春の七草展示	12/24～1/6	840人
10	繭玉団子飾り展示	1/11～1/14	705人
11	ヨーカゾーの目カゴ飾り展示	2/2～2/8	919人
12	お雛様飾り展示	2/9～3/3	3,925人

【業務実施状況に関する補足説明】

●施設利用者数の前年度比

カウンター集計数：3,380人減 記帳集計数：5,616人減

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	8,527,000	人件費 (給料手当、臨時雇賃金、福利厚生費)	6,673,567
その他収入 (事業参加料・民家園販売上等)	400,585	事業費 (会議費、旅費交通費、消耗品費、保険料、諸謝金、負担金)	218,102
		光熱水料費 (電気料、水道料)	435,277
		施設管理費 (通信運搬費、消耗品費、修繕費、燃料費、賃借料、保険料、租税公課、負担金、委託費)	2,044,954
収入計 (①)	8,927,585	支出計 (②)	9,371,900

収支決算	△444,315
------	----------

【収支決算に関する補足説明】

- ・光熱水料費の増加に伴い、収支決算が赤字となっています。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。評価にあたっては、令和元年 7 月 12 日に文化財保護審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか	
評価	施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られている。
	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の利用許可事務については、条例などに則り適切に行われている。 ●外部広報媒体を積極的に活用し、ホームページ等でも事業の様子やお知らせを公開している。 ●無料参加型行事の実施や、見学者向けワークシートの配布など、施設の平等利用を図っている。 ●利用者からの意見・苦情等については、内外への周知を含めて適切に対応している。 ●利用者アンケート・事業アンケートを実施・分析し、サービスの向上に努めている。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか	
評価	施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われている。
	<ul style="list-style-type: none"> ●規定の年中行事を実施している。自主事業として、こどもの日まつり、味噌作り体験、春秋のまつりなどの人気定例事業のほか、古民家の来歴・特色・雰囲気を活かした朗読・演奏公演や、夏休みまゆ工作体験などの新規事業も積極的に実施している。また、泉の森内という立地の特徴を活かした郷土民家園オリジナル商品の作製など、多様な事業を行っている。 ●つる舞の里歴史資料館・下鶴間ふるさと館との合同企画展も実施し、市内の文化財普及啓発活動にも取り組んでいる。 ●来園者数は前年度からやや減少している。(原因の分析:天候不順や、他の競合施設による影響が考えられる。) ●事業参加者数の集計やアンケートの実施により事業の課題を把握し、改善に努めている。 (今後の課題) 他の競合施設と共存共栄できるよう工夫していく必要がある。ターゲットとする年齢層を意識した企画や運営が必要。また、泉の森全体での連携事業や、地域団体との連携、他施設におけるPRなどを強化していく必要がある。これまでの事業を継続しながら、新しいアイデアを取り入れた事業を展開していくことが必要。
評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか	
評価	施設の適切な維持及び管理が図られている。
	<ul style="list-style-type: none"> ●各種点検、報告等は仕様書・協定書等に沿って漏れなく実施されている。施設の清掃や植物の管理及び施設の補修も適切に行われた。 ●指定文化財である貴重な古民家を今後も適切に保存していくには長期的視野にたった大規模修繕も必要なため、市と連絡調整を密にし、施設の現状等の情報を共有する必要がある。
評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか	
評価	施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有している。
	<ul style="list-style-type: none"> ●学芸員の有資格者を計画的に配置し、施設の管理を適切に行う体制を整えている。 ●施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断している。 ●地域住民をボランティアとして活用し、各人の得意分野を活かしている。また、地域団体との連携事業にも積極的に取り組んでおり、地域に根付いた事業を展開している。